

# 校長通信

## Morifun

### <修学旅行中止に>

新型コロナウイルスの脅威がここ岩手にも遂に本格的に上陸したようです。今月に入ってから猛烈な勢いで感染拡大が続いています。この状況下、残念ながら12月に予定されていた修学旅行の中止を決定し、11月4日(水)には保護者説明会を開きました。最後の最後まで日程、行き先を含め最善の策を探りましたが、断腸の思いで中止の決断を下さざるを得ませんでした。これから社会情勢がどのように変化していくか、またそれにどう対応していくか、改めて先が見えない状況ですが、皆さんにとって有意義な高校生活となるよう、学校としても鋭意努力していきます。

### <生徒会認証式>

11月17日(火)全校礼拝後に、生徒会新執行部の認証式が行われました。認証書の授与の後、それぞれの決意表明に続き、生徒会長の山田さんより、生徒会スローガンが発表されました。新執行部が作ったスローガンは、「虹」Make You Happy! 附属高校の生徒たちが、楽しい高校生活を送れるように、虹は雨上がりに現れるものなので、苦しい出来事や悲しい出来事があった後に幸運が待ち受けていることを示しているのでしょう。

#### <生徒会執行部のメンバー>

生徒会長	山田拓巳 (2-4)
副会長	中村登羽 (2-4)
副会長	澤屋敷來夢 (1-2)
会計	久保輝汐 (2-5)
広報	欠畑友良 (2-4)
書記	中居早瀬 (1-1)
書記	吉清水春花 (1-4)

### <全校礼拝より>

#### 旧約聖書 出エジプト記 第3章 11節~12節

モーセは神に言った。「わたしは何者でしょう。どうして、ファラオのもとに行き、しかもイスラエルの人々をエジプトから導き出さねばならないのですか。」

神は言われた。「わたしは必ずあなたと共にいる。このことこそ、わたしがあなたを遣すしるしである。あなたが民をエジプトから導き出したとき、あなたたちはこの山で神に仕える。」

私は小学校の低学年の頃、初めて推理小説を読みました。推理小説というのは最後まで犯人が分からないわけで、それが醍醐味なのですが、まだ小さかったので犯人は誰なんだろうと気になって、結末を読もうとしたことがありました。当時はまだ推理小説の面白さが分からなかったのですが、今でも普段生活する中で、答えや解決策が気になって、そちらの方に意識が行ってしまうことがあります。今は、ネットで検索すると、情報がいっぱいあってすぐに答えっぽいものが見つかるので、すぐに答えや解説が欲しいという傾向が強まっている気がします。推理小説は犯人を突き止めるまでの途中経過が面白いわけで、犯人を捜したりトリックを見破ったりするところが醍醐味なのです。私たちが色々な問題に取り組むときに、途中経過というのがすごく大事なわけですが、余裕がない時はそういう過程が面倒くさいと思い、そういう経過をとばして結論を求めることがあります。

現在は岩手県内でも新型コロナウイルスの感染者が増えつつあり、皆さんも不安な中で過ごしていると思います。ワクチンの開発も進められていますが、ウィズコロナと言われるように、どうやってコロナと共に生活していくか、こうすれば大丈夫という解決策はなかなか見えていません。自分たちにできることを一つひとつ行っていくしかないのかと考えます。このように答えが見つからない問題というのは色々あるわけで、友達や家族との関係、人間関係というのはこうすればいいという答えがありません。他にも社会問題、これからどうやって生きていこうとか、なかなか答えが見つからないものです。答えをつい欲しくなる難しい問題にとどまり続ける、色々なことを考えてみる、そういう時間が大切になってくると考えられます。今のこの社会状況は、答えが出ない状況が山積みで、そういう中で自分に何ができるのか、じっくりと考えていくことが大切なことなのです。

聖書には人生の答えが書いてあるページもあると思いますが、自分自身の経験から言うと、聖書を開いて答えが見つかった経験はあまりありません。聖書には目の前の問題にとどまって、向かい合い続けることができるように励ましてくれる、そういう言葉が出てきます。それが自分にとって大切な言葉だなと感じられます。すぐに解決策を示してくれるのではなく、もうちょっと頑張ってみよう、明日も頑張ってみようとか、力を与えてくれるものだと思います。出エジプト記の言葉、「わたしは必ずあなたと共にいる。」神が私たちと共にあるというのは、聖書の中心的なメッセージですが、どんなときもいつも一緒にいるから、勇気を出して、安心してということです。皆さんも今色々なことに悩んでいるかもしれません、3年生は進路について考えているところかもしれません。自分の進路が見つかった人も、なかなか見つからない人もいでしょう。目の前の大切な課題に向かって考えていくこと、途中経過が大事であること、聖書とはそういうものを伝え励ましているものだと考えます。

(11月17日全校礼拝 花巻教会牧師・鈴木道也先生)

## 新約聖書 マタイによる福音書 第25章 40節

そこで、王は答える。『はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、私にしてくれたことなのである。』

このマタイによる福音書の言葉は、困っている人のために行ったことは、イエス・キリストに対して行ったことと同じであると述べられています。例えば、食料が不足している人に食べ物を分け与えたこと。のどが渇いている人に飲み水を差し出したこと。着る物がない人に上着を与えたこと。病氣の人を見舞ったこと。他者のために行った一つひとつの行動が、イエス・キリストに対して行ったことと同じであると言われています。

この言葉は困難の中にいる人のために何かをすることの大切さを私たちに伝えていますが、同時に、困難の中にある人のために何もしなかったことを厳しく戒める言葉も記されています。例えば、食料が不足している人に食べ物を分け与えなかったこと。のどが渇いている人に飲み水を差し出さなかったこと。着る物がない人に上着を与えなかったこと。病氣の人を見舞わなかったこと。他者に対して行わなかった一つひとつのことは、イエス・キリストに対して行わなかったことと等しいと言うのです。

私たちは、良かれと思ってしたこと、逆に人を傷つけてしまうことがあります。事態の悪化を招いてしまうこともあります。しかしそれでも、自分が行ったこと、責任より、行うべきことを行わなかったこと、責任の方が重いのだということです。してしまった失敗よりも、「何もしなかった」ことの失敗の責任を問うています。

しかし、今年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、このキリスト教の考え方に変化が迫られているのです。人のために直接何かをすることが、感染リスクを高めることにつながるという予期せぬ事態が生じてしまいました。「何もしないこと」が感染予防となる、感染につながるような行動は避けるという意識の変化が生じています。それでも誰かのため、家族のため、友人の

ため、困っている人のために何ができるか、そういうことを考える時間が与えられているのかもしれませんが。もちろん、「何もしない」というのは、あくまで感染リスクにつながるような直接的な行動を控えるということであって、「他者のためにまったく何もしない」こととは異なります。これまでとはかたちは変わったとしても、たとえ距離は離れていても、私たちにできることがあるはずで、このような得意な状況の中であって、自分に、自分たちにできることは何か、何もしていないよりも、何か人のためにできることは何か、いま私たちは改めてそのことを考える機会が与えられています。

賛美歌 563 番 (ギターの弾き語り)

1 ここに私はいます、ホームレスの眠る街。ここに私はいます、凍えるこの涙にも。あなたは？

2 ここに私はいます、仕事を探す列の中。共に私はいます、変革よが人々と。あなたは？

3 共に食卓をかこみパンを分かち群れの中。共に私はいます、みことばに生きる人と。あなたは？

(11月24日全校礼拝 花巻教会牧師・鈴木道也先生)

## <部活動の活躍から>

連日新型コロナウイルス感染拡大の暗いニュースが流れる中、嬉しいニュースが飛び込んできました。まずは野球部が1年生大会で初優勝、柔道部が高校選手権県大会で見事に連覇を果たし、陸上部は日報駅伝で悲願の初優勝を果たしました。野球部は4回目にして初の栄冠に輝きました。柔道部は昨年高校選手権を制しながら、コロナの関係で大会が中止となり大変悔しい思いをしました。全国の舞台に立つことが叶わなかった3年生の思いを背負い、意地と根性で2年連続の頂点に立ちました。陸上部は先月の高校駅伝の無念を晴らすかのように、創部7年目(初陣の2014年は最下位の18位でした)での悲願達成です。宿敵一関学院が棄権で不在の中、2区で首位に立ち、そのまま2区から6区まで区間賞の快走で、2位に9分15秒の大差をつけてゴールしました。各部

は日頃の練習の成果を十分に発揮してそれぞれ目指す結果を達成しました。しかし、更なる高みを目指して、まだまだ挑戦は続きます。選手の皆さんの奮闘にエールを送るとともに、学校一丸となってこの快挙を喜び、コロナに負けない充実の学校生活になることを祈念します。

【野球部】岩手国体記念第4回1年生野球交流岩手県大会(10/29~11/3) 1回戦9-3 遠野  
準決勝6-2 専大北上 決勝5-1 盛岡中央 (初優勝)

【柔道部】第43回全国高校柔道選手権県大会・富士大旗争奪大会(11/20~21)

団体 第1位 2回戦4人残り盛岡工 準々決勝5人残り福岡工 準決勝2人残り福岡 決勝1人残り盛岡南  
最優秀選手 伊藤匠 優秀選手 土屋琉空 佐々木康太  
個人 60kg級1位 安部将矢 66kg級2位 勝田隆暖  
73kg級3位 伊藤匠 無差別級1位 土屋琉空  
3位 熊谷恒太(団体は2年連続9度目の優勝)

【陸上部】第79回日報駅伝(11/23)

第1位 2時間35分2秒【1区 佐々木稼全③ 2区 大宮大虎①区間新 3区 清水畑永和①区間新 4区 服部佑真① 5区 佐藤美寿輝① 6区 佐藤碧①】  
第60回奥羽横断駅伝(10/25) 第1位 盛岡大附B  
3時間14分41秒(大会新) 第3位 盛附A 第5位 C  
第56回東北高校駅伝(11/12)  
第10位 2時間10分31秒

【サッカー部】県高校新人大会(11/14~17)

2回戦2-0 高田 3回戦0-6 盛岡誠桜(ベスト16)

【バドミントン部】県高校新人大会(10/29~31)

男子 団体 2回戦1-3 花巻北  
女子 団体 1回戦3-2 大船渡 2回戦3-1 久慈  
3回戦0-3 一関二(ベスト16)